

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	16	学校名	仙台市立向山小学校	校長名	黒須 功太郎
------	----	-----	-----------	-----	--------

1 取組のタイトル 「地域の特色を生かした環境活動」～ 地域との連携 ～



2 取組の紹介

(1) どんぐりの森づくりプロジェクト (低学年)

地域にある野草園と連携した活動で、生活科の学習の中で「環境教育」として行っています。

1, 2年生の児童が向山中央公園に落ちているどんぐりを野草園の皆さんの御協力のもと、ポットに植えて、苗木を育てる活動です。数年後に育った苗は、東日本大震災で被災した海岸公園などに市民の方々と協力して植栽していました。どんぐりの森をつくる自然の営みの大切さを学び、震災前の自然豊かな森を取り戻すことの一助となっています。児童公園で育てているので、児童が気軽に成長の様子を見に行くことができるのも、この地域の特色です。



(2) 広瀬川での生き物観察 (中学年)

4年生の総合的な学習と理科を関連させた「環境教育」として、学区に近い広瀬川の生き物観察の学習を行いました。事前に学校で川に住む生き物の学習を行った後、実際に広瀬川に行き、生き物を探す活動をしました。水の流れの速さや温度を肌で感じたり、「カワラバン」の菅原正徳代表に魚のえさとなる水生昆虫の住み処を教えてもらったりと、身近な自然の豊かさを体感することができました。また、実際に川の中に入ってみることで、ごみが捨ててあったり、汚れていたりする川の様子を目の当たりにすることで、地域の資源や環境を維持していくために自分たちに取り組めることや今後の課題を考えることができました。



3 取組の成果 (児童の変容)

向山地区は野草園、向山中央公園、広瀬川など自然環境に恵まれた地域であることから、地域の方々や近隣の公共施設と連携して、自然の様子に対する興味や関心を高めながら学習することができました。どんぐりの苗木を育てている向山中央公園は、季節を感じ取ったり、自然を活用したりする学習の場であるとともに、児童の日常生活にとって身近な遊び場にもなっています。上記の活動以外にも、野外活動や田植え、竹の子取りや落ち葉拾いなど、実際の体験を通し自然に触れることで、くらしと住環境についての知識が深まっていきます。今後も、学年に応じた「環境教育」に積極的に取り組んでいくことで、より良い環境について考えようとする気持ちを育てていきます。